

令和2年度 学校図書館基本計画

足立区立洲江中学校 校長 井原武彦

1 学校教育目標

- よく考え自ら学ぶ人
- 正しく判断し実行する人
- 礼儀正しく情操豊かな人
- 心身ともに健康な人

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- 図書館支援員を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- 図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 15747冊（蔵書基準冊数12640冊）／ 蔵書率124.5%									
	② 新規購入図書 434冊 ／ 廃棄図書 8冊 ／ 増減冊数 426冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	3%	9%	11%	9%	4%	2%	10%	5%	45%
*国基準	6%	3%	17%	10%	15%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 昼休みから17時20分まで									
	② 生徒一人あたりの年間貸出冊数 3.56冊（前々年度：10.50冊）									
	③ 学校図書館利用率 263800%（前々年度：977300%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。	
	②学校図書を活用した探求活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。	
	③図書の借り方や扱い等、正しく利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①休み時間や放課後の時間等、読書をすることができる。		①第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増
②図書館の本や新聞等を活用しながら探求活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。		②学年生徒の調べる学習コンクール参加率50%以上
③学校図書館のきまりや仕組みを知る。		③学校図書館のオリエンテーションの学年全生徒の受講率90%
第2学年	①読書に親しむ意欲を育成する。	
	②課題によって学校図書やICT機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力の育成を図る。	
	③学校図書館をよりよくするための思考を通じて、規範意識の育成を図る	
今年度の成果目標		達成基準
①休み時間や放課後の時間等、読書をすることができる。		①第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増
②課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探求活動を進めることができる。		②学年生徒の調べる学習コンクールの参加率60%以上
③学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。		③読書や探求活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合100%

第3学年	①読書を通して考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ②学校図書やI C T機器を活用した探求活動を通して、言語活動の育成を図る。 ③学校図書館をよりよくするための活動をする。
今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ②課題に応じて、本や新聞等、I C T機器を使い分け、探求活動を進め、表現することができる。 ③学校図書館のきまりや仕組みについて理解する。	①第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比5%増 ②学年生徒の調べる学習コンクールの参加率80%以上 ③読書や探求活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合100%

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ①廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。
- ②全蔵書の3割程度について、「3桁分類」への転換作業を完了する。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ①学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ②調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③オリンピック・パラリンピックやキャリア教育等、時期に応じた連携や協働に計画的に努める。
- ④学校図書館だより展示・掲示の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上に努める。

【その他】

- ①年度末の貸し出し返却率が90%となるよう取り組む。
- ②「新聞コーナー」、「調べ学習コーナー」を常設する。